

町内産業活性化の支援育成を 企業誘致を進めていきたい

問 町長になられてから3期目10年の節目をむかえられるわけですが、今どんな感想をもっておられるのでしょうか。

1期から3期まで無投票当選を重ねられたわりには、融和を尊ぶ町長らしく誇りは感じられませんが、無風というのはいさくありません。

町民からは役場も議会も緊張感が足りないと言っています。公約「いきいき・すこやか・共生の町づくり」のなかで「町内産業の活性化・育成」は十分な成

果を上げるように努めていただきたいと思います。

答 中嶋町長 本町の企業は、糟屋郡内の他町に比べ2倍程の企業があります。

他町では珍しい企業クラブがあり、その交流の中で雇用の促進や企業間の友好問題などがスムーズに行われているようです。

おかげで、法人税が約10%伸びています。今後、志免～須恵線からスマートインターまでの県道が整備されますと、その周辺の地主さんの理



御手洗 寿乃 議員

解を得ながら、企業誘致を進めていきたいと思えます。

管です。営で支えるかという予算は非常に難しいです。社会保障のこともあり、なかなか思ったところに予算が回せないのが実情です。



工事が進む「志免～須恵線」

就労支援 機関の創設を

県の事業を全面的に支援

問 リーマンショック以来、長引く不況で失業や就職が決まらない学生が多いという現状で、アルバイトや派遣社員を繰り返すという現状を少しでも打破する手助けを町として考えるべきだと思います。

ハローワークや、ジョブカフェは天神や赤坂まで通わなければなりません。公的な場所や商工会、あるいは近隣町と合同でもいいと思いますが、就労支援の機関を創設してはと思います。

答 中嶋町長

本町には、商工会会員582名、企業クラブ会員74社あります。

町と商工会、企業クラブが一体となって雇用の促進、情報の提供等をやっているかなければならぬと思います。

県がやっていることを町としては全面的に支援していきたいです。近隣町との合同機関創設については、難しい状況です。



柴田 真人 議員

学童保育所の現状は

保護者会に運営委託

問 不況の中働くお母さんが増え、学童保育所に預ける子どもが増えてきていると思います。

現在の各保育所の人数の状況や、施設の広さ・安全性や先生の人数などの状況は。

また、今後の増加の推測などをお聞かせ下さい。

答 平松教育長

本町の学童保育所は、各小学校学童保育所保護者会に委託事業として運営をお願いしています。

第1ビスケットクラブ（第1小学校）児童数56名、平日放課後から17時まで、土・日曜日は不定期に開所、指導員は常勤3名、非常勤1名。第2ビスケットクラブ（第2小学校）児童数47名、平日放課後から18時

まで、土曜日は月1回開所、指導員は常勤3名、非常勤1名。

第3ビスケットクラブ（第3小学校）児童数30名、平日放課後から17時30分まで、土曜日は毎週開所、指導員は常勤2名、非常勤2名。

今後、極端な増加は見込んでおりません。

また、第1ビスケットにおいて待機児童がいるのは、補助対象以上の4年生以上を預かっているからです。

ここが聞きにくい!



答弁中の中嶋町長

一般質問